

第1章

本市の環境の概況



第1章 本市の環境の概況

1 地形・地質

本市の地形は、西から東へ、山地、丘陵地、台地及び沖積平野に大別できます。

山地は、奥羽脊梁山脈の一部をなし、船形山(1,500m)を最高峰に、1,000m～1,500m級の山が連なり、新第三紀末～第四紀の火山からなっています。全般に急峻で、河川が深い谷を刻んでいます。船形連峰は溶岩や火砕岩類の堆積面が多く、比較的緩やかな斜面を有しています。

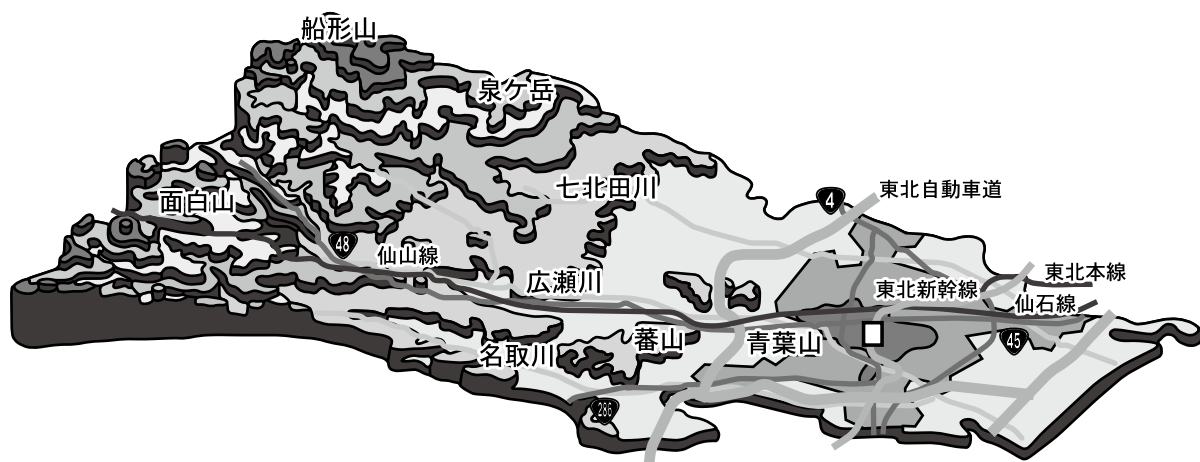
丘陵地は、山地に比べて起伏が小さく、稜線の標高は西で400m～500m、東で50m～200m程度でそろっています。東側ほど谷が浅く、谷底平野や河岸段丘がよく発達しています。

台地は、数段の平坦面と、これらを縁取る急崖とにより構成される河岸段丘地形からなっています。地表面は主として砂れきからなり、丘陵地を構成している基盤岩が部分的に露出しています。

沖積平野は、さらに、浜堤列、自然堤防、後背湿地、旧河道等に微地形区別されます。後背湿地には、泥炭を多量に含む軟弱層が1～10mの厚さで堆積し、地盤としては極めて不安定な状態です。

また、本市には、長町-利府断層、大年寺山断層、作並断層、愛子断層等の活断層が通っています。

図1-101 仙台市の地形図



2 気象

太平洋に面した海岸性気候のため比較的寒暖の差が小さく、冬季に奥羽山脈を越えて吹きつける北西の風が乾燥しているため積雪が少ないのが特徴です。

表1-101 気象概況

年次	気温(℃)			湿度 平均	降水量(mm)	風速(m/sec)		日照時間(h)
	平均	最高	最低			平均	最大	
平均値・極値	12.8	37.3	-11.7	71	1,276.7	3.2	24.0	1,836.9
平成30年	13.6	37.3	-6.7	72	1,082.0	3.0	23.0	1,998.4
令和元年	13.6	36.1	-3.6	70	1,389.5	3.1	19.4	2,056.0
令和2年	13.7	35.5	-4.7	74	1,247.0	2.9	15.2	1,797.2
令和3年	13.7	34.5	-7.6	73	1,183.0	3.1	14.9	1,972.8
令和4年	13.5	36.5	-5.1	73	1,224.5	3.0	12.7	1,951.9

(資料：仙台管区気象台)

(注) 平均値は平成3年から令和2年までの30年の平均、極値は観測開始または統計開始年から令和2年までの記録による。

3 緑被地

本市の緑は、公園等の公共緑地及び森林のほかに農地の緑や水辺空間などがあり、これらの総量は、令和元年度現在で約61,631haで、緑被地の全市域に占める割合は78.4%となっています。